

高齢期の方々の尊厳を踏まえ、こころ温まる医療の 提供と地域から愛される病院を目指します。

- □認知症疾患の特性を踏まえ、個別性の高い医療と 温かみのある療養の提供
- 2認知症に関する介護教育と啓発活動の充実
- €地域の医療・保健・福祉との一層の連携と協働
- △働きがいのある職場づくり
- ⑤職員一人ひとりが自覚し、健全な病院運営への努力

患者様の権利に 関する宣言

- **①**良質な医療を平等に受ける権利
- 2選択および自己決定する権利
- 3意識のない患者様および 法的能力のない患者様の権利
- 4十分な説明を受ける権利
- ⑤個人情報およびプライバシーを 保護される権利
- 6個人の尊厳を守る権利
- 7通信・面会を自由に行う権利

- P3 家族は今 「認知症を理解する」
- P4 トピックス 第20回 日本認知症ケア学会大会発表
- P5 看護展·院内研究発表
- P6 新人紹介
- P7 講演会のご案内
- P8 2019年度研修案内 (一般・専門職研修) 8~10月



⑤ 福井県立すこやかシルバー病院



すこやか講座

認知症と熱中症の関係性について

若年者と高齢者の体内の水分の割合を比較すると、子どもは約70%、成人は約60%であ るのに比べ、高齢者は約50%と体内の水分の割合が少ないです。よって、体内の水分が足 りなくなると、高温で体温が上昇した身体を冷やすための汗が出なくなり、さらに体温が上 昇し、脳細胞が障害され、脱水症や熱中症に繋がります。熱中症は、夏だけの問題ではあ りませんが、特に気温が上昇した時はその危険度が増します。

熱中症になりやすい原因の一つが、体温調節機能の低下です。また体力低下、低栄養な どによる虚弱状態に陥っていると、熱中症が起きた際の回復力が弱いため、すぐに対処しな ければ重症化のリスクがあります。高齢になると暑さや喉の渇きを自覚しづらくなることが 増えます。そのため一般的には暑いと感じるほど高温の部屋でも、暑さに気付かずに長時間 過ごしてしまい、熱中症になることがあります。また、高齢者の中には、エアコンや扇風機 の風を嫌がり、温度調節をしたがらない方も見受けられます。

認知症の方は、記憶はもとより見当識、判断、理解といった能力が障害されます。判断 力が障害されると、家族から注意を受けても『暑くて汗をかくことで体内から水分が失われ 脱水症になり、また室内が高温だと体内に熱がこもり熱中症になる』ことに対して『水分を 補給すること、室温を下げることが必要』という判断は思いつきません。それゆえ、熱中症 を予防する手段を本人自ら実行することは難しいです。

認知症の方を熱中症の危険から守れるのは、家族や周囲の人の熱中症の正しい知識と、 ちょっとした生活の工夫です。是非とも、気温が高くなる夏の日には、熱中症対策を躊躇な く実行し、認知症の方の命を熱中症から守ってあげてください。

認知症の方の熱中症対策

- ①水分摂取と室内温度調整は、本人任せにしない⑥本人の好きな飲み物を用意する
- 2 見守れる人をおく
- ③室内の温度調整はできるだけ広い範囲で行う
 ③ショートステイやデイサービスを利用する
- 4 夜間の室内温度にも注意する
- **⑤**着ているものをチェックする

- ⑦水分の多い食事を気にかける
- ②本人の体調に注意する
- ⑩熱中症の予兆 (頭痛・めまい・吐き気・嘔吐・ 倦怠感) を見落とさない



Y • I

私は認知症という病気というか症状というものを深く知らず、症状は一人ひとり違うという事を知らなかったので、対応が上手く出来なくて辛かったです。主人は子供の頃より病気らしい病気もせず、病気でつらいということを知らない人で、真面目で几帳面でマメで電化製品などチョットした故障など分解して直したり、家の中の色々な所を便利な様に改修したりする人でした。でもいつも私に相談するのでなく、自分勝手にいつの間にかやってしまいビックリするのですが、まぁいいことだからと否定したりせず「お父さんのすることには間違いはない!」と思う様にして平穏にいい夫婦だと思い、二人共家にいるようになったら楽しく暮らしたいと思っていました。

72歳頃仕事もなくなり毎日家にいるようになり少々物忘れが多くなり、耳が遠く話が通じなくなり、マメに自分流に家の中、畑などさわり、力もあり一心にするから、早くいつの間にかやってしまいました。困ると言っても私の言う事が理解できず私はイライラし、主人に素直になれず主人を怒らせてしまい、暴力を振われたり、物をぶつけられたりしました。結婚して50年、夫婦ってなんだったんだろう。私に相談などせず自分の思う通りやって今も私の嫌なことをしてむなしく、悲しくストレスはたまり、つらい日々でした。でもなんとかしたいと思い包括センターに相談に行きました。すぐ調査に来て下さり、デイサービスに通うようになりました。しかし、本人は認知症だからデイサービスに行くなんて思う人ではなく、相変わらず自分で車の運転はして、健康の森温泉に行っていました。この時期約1年は本当に悩み苦しみました。主人は認知症で一種の病気だと認められるようになってからは、マメに色々な事をするままに見守る事が出来、私が出掛ける時は一緒に出掛けたり、デイサービスに行っている時は私も友達と話し合ったり楽しい時間を作ることが出来ました。

この度すこやかシルバー病院に入院させていただき広い所で院長先生はじめスタッフの皆様の笑顔ですばらしい対応に感動しました。食事もおいしく、食べやすく、栄養も良く考えてあり大変参考になることがありました。入院させていただいて、私の体調もよくなり、明るくなり、もっと認知症のことを知り、自分をはじめ身近な人の為にお役に立てられたらと思い、セミナーや研修会、家族の会と積極的に参加したいと思います。今は主人と会話は出来ませんが思いは通じ合うと思い、いとおしく思います。体はだんだん弱り、今後どの様になるか心配ですが皆様に色々教えていただき前向きに明るく元気で一日一日を丁寧に過ごして行きたいと思います。

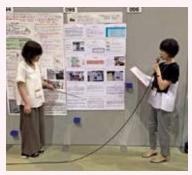
5月25日、26日に京都国立国際会館において「第20回日本 認知症ケア学会大会 | が開催され、当院の介護福祉士がポスター 発表と口頭発表を行いました。



ポスター発表 『認知症治療病棟にPEAP日本版3を取り入れて』



ポスター発表会場では、作成したポスターを興味を もって見る人や、写真を撮る人、声を掛けてくれる人 もいました。ポスター発表の経験から「病棟スタッフ 全体がPEAPを理解して環境づくりを行うこと」「共通 の視点をもって計画的に環境づくりを継続していくし ということが、認知症治療病棟だからこそ重要だと改 めて感じることができました。



私たちにとって日本認知症ケア学会大会は、今まで は聞く立場でしかなかったのですが、当院での研究発 表をきっかけに、今大会で発表するという貴重な体験 に繋げることができました。初めてポスター発表を経 験しましたが、緊張しつつも楽しんで参加する事がで きました。今回の経験をさらに様々な形で今後に活か したいと思います。

コメント:伊藤有香 介護福祉士(写真右側)

回頭発表 『認知症治療病棟における介護福祉士の モーニングケアに関する認識と課題』

認知症の方に対するモーニングケア(起 床からの洗面・髭剃り・整髪) ついて介護 福祉士を対象に意識調査した結果を今大会 で発表しました。

今大会では多くの経験と刺激を頂きまし た。今後も、認知症ケアの質の向上にむけ、 外部へ発信できるよう努めていきたいと考 えております!

コメント:分見民雄 介護福祉士



看護展。

5月12日は「看護の日」です。この日は、英国の看護婦ナイチンゲール(1820~1910)の誕生日です。5月17日当院ロビーで看護展を開催しました。入院患者様や、外来患者様とご家族様で賑わっていました。



●血管年齢測定

●足型測定

●介護相談など

初めまして横々ッパーですの





当日はペッパー君も来院して 参加者と触れ合いました!!

"血管年齢測定"や"足型測定"を行い、 自分の体の状態を確認していました。

院内研究発表会

昨年度(平成30年度)に当院で行なわれた研究の、院内研究発表会が5月17日に行われました。今回は以下の3題の研究発表がありました。

- 1. 認知症高齢者に対する音楽療法の導入に向けて 看護部東病棟 ~好みの音楽を聞き取り、回想法やゲームを取り入れてみて~
- 2. デイルームの環境づくりに認知症高齢者の意向を取り入れて **看護部東病棟** ~新環境を碁石式キャプション評価にて振り返る~
- 3. 認知症治療病棟における入院早期からの在宅退院に向けた支援内容の検討 看護部西病棟 ~ 多職種協働による在宅退院に向けた支援内容の検討をもとにした入院スクリーニングシートの作成~

聴講している職員からの質疑応答もあり、学びの多い時間となりました。今後一層研究を 深め、患者様へのより良い治療・ケアにつなげていきたいと思います。









はじめまして!! 新入職員紹介



西病棟看護師 金田良平

平成30年9月より看護師として勤務させていただいています金田良平と申します。働き始めて数か月が経ちましたが、患者様一人一人、入院までの経緯、認知症による症状などは様々で、日々の対応の仕方に関しても同じではいけないということを感じています。それぞれ個別性のある患者様との関わりは難しい反面、やりがいもあると思っています。

今後、高齢者の割合はますます増加していき、認知症と共に生活していく方は増えていくと思います。この病院で働きながら認知症の患者様やその家族の方々にこの病院に来てよかったと思っていただける看護が提供できるように日々頑張って成長していきたいです。今後ともよろしくお願いします。

平成31年2月より、すこやかシルバー病院西病棟の末席に加えさせていただく事になりました看護師の山田と申します。以前は19年間、他病院で勤務をしておりましたが、時代の流れとともに患者様の高齢化を肌で感じておりました。病院勤務経験はあるものの、認知症専門病院での看護業務は初めてで、日々自分の未熟さを痛感していると同時に、学び得ることも大変多く、やりがいを感じております。今の自分では、患者様の「現在」を看ることで精一杯ですが、今後、患者様の生きてこられた「過去」や、患者様のこれからの「未来」を考察し、療養上のお世話をさせていただきたいと思っております。院長先生をはじめ、他職種の方々、諸先輩方の築き上げてこられた信頼される病院の名に恥じぬよう精進していく所存でございます。



西病棟看護師 山田大輔



西病棟看護師 南部望

初めまして。令和元年6月に採用になった看護師の南部といいます。私は以前高齢者施設で働いていました。その前の病院勤務時代からお年寄りに関わる仕事がしたいと考えていましたが、施設や病院での勤務中はやはり、認知症を患う人々が多くおり、自分の知識のなさや技術不足からケアの不十分さを実感していました。認知症に特化したこのすこやかシルバー病院で専門的知識や技術を身に付けたいと感じ、採用試験を受けさせてもらいました。

すこやかシルバー病院で働き始めてからこの数か月、認知症の患者様と接する中で先輩ナースや他の医療スタッフから学ぶことは多く、改めて自分の知識不足を実感しているところです。認知症は生活に支障をきたす疾患であり、病気だけに目を向けているだけではいけないと感じる機会も多いです。患者様の生活歴などトータルで視る視点を身に付けて、患者様だけでなくその家族も笑顔になれるような看護を提供できればと考えています。どうぞよろしくお願いします。

福井県立すこやかシルバー病院講演会

TITEOTEUS 効果的なす

令和元年11月30日 13:30~15:30

福井県生活学習館(ユー・アイふくい) 多目的ホール[福井県福井市下六条町14-1]

事前申込を お願い致します

講師

鳥取大学医学部保健学科生体制御学講座•環境保健学分野教授 日本認知症予防学会理事長

浦上 克哉 氏



講師プロフィール

1983年鳥取大学医学部を卒業、1988年同大学院博士課 程修了。1989年鳥取大学医学部神経内科助手、1996年 同講師、2001年より鳥取大学医学部保健学科生体制御 学講座·環境保健学分野教授。2016年北翔大学客員教授 (併任)。日本老年精神医学会理事、日本脳血管・認知症学 会理事、認知症予防専門医。

2011年4月に日本認知症予防学会を設立し、初代理事長 に就任。専門はアルツハイマー型認知症および関連疾患 の原因及び診断マーカー、治療、ケアに関する研究。アロ マオイルを使った予防法の研究は、テレビでも取り上げら れて注目を集めている。

著書に「新版 認知症よい対応・わるい対応 正しい理解と効 果的な予防1(日本評論社)、「自分でできる 家族でできる 認知症予防と対処法」(主婦の友社)等多数。

内容

- ▶認知症早期発見のためにできること ●自分でできる認知症予防
- ▶認知症について知っておきたいこと
- 認知症の人とのコミュニケーション

申 込 方法

①はがき

氏名、電話番号を記入し、『講演会申込』と明記の上 〒910-3623 福井市島寺町93-6

福井県立すこやかシルバー病院

までお送りください。

2FAX

氏名、電話番号を記入し、『講演会申込』と明記の上 FAX.0776-98-2793 までお送りください。

(3)雷話 TEL.0776-98-2700

9 2019年度 [8月~10月] 福井県立すこやナ

福井県立すこやかシルバー病院研修案内

一般の方を対象にした研修 研修場所/福井県立すこやかシルバー病院 2階会議室 一般研修はお電話でお申込みできます。お名前(フルネーム、漢字)、連絡先、参加希望研修名をお伝えください。



研修名	開催日	研修時間	主な研修内容	講師	定員
心も体も元気に健康に ~認知症の理解、予防、支援~	8月7日(水)	13時30分~15時	認知症の危険因子脳を鍛える対策心と体を元気にする活動、実演	松間香織作業療法士	50名
認知症高齢者の排泄援助	8月9日儉	13時30分~ 15時	●排泄時に援助を要する状況 ●排泄時の介護のポイント	辻真彰副看護師長	50名
認知症高齢者の食事援助	9月10日(火	13時30分~15時	・食事摂取困難な状況、介護のポイントについて・認知症高齢者の摂食開始困難、摂食中断、食べ方の乱れに対する食事環境づくり	辻真彰副看護師長	50名
認知症の方の 症状悪化の原因を考える	9月13日惍	13時30分~15時	認知症の方への対応、原因疾患に合わせたケア、認知症の方の進行に合わせたケア、認知症の方の体調の変化、薬の副作用、過ごし方、環境、悪化する前のきっかけ等	帰山知子看護師長	50名
認知症の 基礎知識と対応のポイント	9月27日金	13時30分~ 15時	認知症の症状認知症高齢者の対応のポイント	清水宏隆看護師	50名
高齢者の排泄援助とスキンケア	10月4日惍	13時30分~15時	排泄時に援助を要する状況排泄援助のポイント排泄援助の実際について高齢者のスキンケア	福井厚生病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 宮腰心氏	50名
心も体も元気に健康に ~認知症の理解、予防、支援~	10月16日(水)	13時30分~15時	認知症の危険因子脳を鍛える対策心と体を元気にする活動、実演	内藤明美作業療法士	50名

ケア専門職の方を対象にした研修 研修場所/福井県立すこやかシルバー病院 2階会議室

専門職研修の申込方法は、当院ホームページ「介護教育のご案内」をご参照のうえお申込みください。 定員を超える研修が多いため、当院ホームページで申し込み状況をご確認ください。



定員を超える研修か多いため、当院ホームペーンで申し込み状況をご確認ください。								
研修名	開催日	研修時間	主な研修内容	講師	定員			
認知症高齢者ケア(アセスメント)	8月2日儉	14時~16時30分	BPSDの原因を探るため、身体的要因、 社会心理的要因、中核症状の状況、周囲の 環境等、アセスメントの視点について	福井県立すこやかシルバー病院 認知症看護認定看護師 荒井岐枝	60名			
せん妄の方のケア	8月21日俶	14時~ 17時	●せん妄の症状、要因、ケア	福井県立病院 精神看護専門看護師 山口達也氏	70名			
認知症の方の身体拘束を 避けるケアの工夫	8月30日魵	13時30分~16時30分	身体拘束にあたる行為身体拘束を回避するためのリスクマネジメント、ケア	一般財団法人 仁明会 精神衛生研究所 副所長 大塚恒子氏	70名			
介護職員のメンタルヘルス	9月4日俶	13時30分~16時	介護職員のストレスを予防・低減する ための方法について、職場の環境等に 焦点を当てて解説	新潟青陵大学短期大学部 准教授 柳澤利之氏	70名			
独居生活の認知症高齢者の援助	9月20日惍	13時30分~16時30分	認知症高齢者の独居生活にみられる特徴認知症高齢者の独居生活の援助	兵庫医療大学看護学部 助教 久保田真美氏	70名			
認知症高齢者の転倒予防	9月25日(水)	13時30分~16時30分	認知症の症状と転倒に関連する症状認知症高齢者の転倒の特徴認知症高齢者の転倒予防のための工夫	金沢医科大学看護学部 教授 平松知子氏	70名			
認知症高齢者への作業療法	9月30日(月)	13時30分~16時30分	認知症高齢者の作業療法の実践方法、注意点認知症の人への施設における作業療法、地域における作業療法、家族支援	大和大学保健医療学部 准教授 菅沼一平氏	70名			
精神科薬物療法の知識	10月1日(火)	14時~15時30分	抗認知症薬、抗精神病薬、抗うつ薬、抗不安薬、睡眠薬の作用、副作用	福井県立すこやかシルバー病院 診療部長、医師 村田憲治	70名			
高齢の統合失調症の方のケア	10月2日(水)	14時~17時	高齢者の統合失調症(妄想性障害を含む)の症状とケア、アルツハイマー型認知症やレビー小体型認知症との相違点	福井県立病院 精神看護専門看護師 山口達也氏	70名			
認知症の方の 暴言・暴力、介護拒否への対応	10月10日休	14時30分~17時30分	●BPSD(行動・心理症状)の理解 ●BPSD(行動・心理症状)の原因と理由の 観察 ●暴言、暴力、介護拒否に対するケア	NPO法人認知症ケア研究所 統括管理者 高橋克佳氏	70名			
	10月11日惍	10時~ 13時						

11月以降の研修については、リニューアルライフすこやか秋号に掲載予定です。

お問合せ/福井県立すこやかシルバー病院 介護教育部 Tel (0776)98-2700